

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等		目標の内容・実績			
【法人名】 埼玉高速鉄道株式会社	目標	安全・安定輸送の確保 鉄道運転事故ゼロの継続	沿線地域への貢献 【令和4年度目標】 輸送人員 104,500人／日 【令和5年度目標】 輸送人員 111,000人／日 【令和6年度目標】 輸送人員 117,800人／日	経常黒字の継続による経営基盤の強化 【令和4年度目標】 営業利益 2,112百万円、経常利益 1,899百万円 【令和5年度目標】 営業利益 2,331百万円、経常利益 2,127百万円 【令和6年度目標】 営業利益 2,664百万円、経常利益 2,470百万円	岩槻延伸の早期実現に向けた積極的な協力・取組 延伸に向けた手続き及び将来への取組
		【令和4年度実績】 運転無事故継続 【令和5年度実績】 運転無事故継続 【令和6年度実績】 運転無事故継続	【令和4年度実績】 輸送人員 108,027人／日 【令和5年度実績】 輸送人員 116,542人／日 【令和6年度実績】 輸送人員 123,384人／日	【令和4年度実績】 営業利益 2,724百万円、経常利益 2,554百万円 【令和5年度実績】 営業利益 3,137百万円、経常利益 2,958百万円 【令和6年度実績】 営業利益 3,450百万円、経常利益 3,262百万円	【令和4年度実績】 「薬師寺東塔模型」と「玄奘三蔵法師像」の設置 【令和5年度実績】 「地下鉄7号線延伸に関わる技術支援要請」の受諾 【令和6年度実績】 「岩槻延伸検討委員会」を設置 自治体等の4者による「地下鉄7号線（埼玉高速鉄道線）延伸連携会議」での協議や連携調整
【中期経営計画の期間】 令和4年度～令和6年度	法人による自己評価	日々の安全確認の励行や施設・設備の適切な維持管理に努め、平成13年の開業以来23年間の運転無事故を継続した。 異常時にお客様を安全に搬送できるよう全駅に「搬送トロ」を配備するとともに、車内の快適性向上を図るため車両座席に「袖仕切り」を設置した。 また、異常時対応能力の向上を図るため、駅間停止列車を想定した避難誘導訓練や警察署と連携した不審者対応訓練など各種訓練を実施した。	「浦和美園まつり＆花火大会」では新規ブースを加えてコンテンツの充実を図り、「こどもの日フェスタ」では新たに新井宿駅会場を加えた全4会場で開催するなど、内容を拡充し集客力の向上を図った。 また、はじめて氷川神社・JR東日本とコラボし、氷川神社三社を電車でめぐり期間限定の御朱印と開運きつぐを集めながら地域の歴史や文化に触れられる「氷川神社開運めぐり」を開催した。 さらに、傘のシェアリングサービス「アイカサ」を全駅で導入するとともに、他路線との乗換駅や乗換えに便利な乗車位置など様々な情報を1枚のポスターに集約した「のりかえ便利マップ」を全駅に掲示し、利便性向上を図った。	資産の有効活用として、当社線各駅構内スペースや浦和美園駅の遊歩道、臨時ホームにおいて、地元野菜等の販売やキッチンカー出店、イベント事業者への場所の貸出しなどを行った。 当社駅員が企画した周遊型スタンプラリーを開催したほか、バス事業者等と連携した企画乗車券や当社2000系車両をモチーフに細部のデザインまでこだわった「鉄道の日記念一日乗車券」を数量限定で発売するなど、利用促進を図った。	全社体制で岩槻延伸に係る各課題の検討深度化を図るため、社内に「岩槻延伸検討委員会」を設置するとともに、各関係者間の協議や連絡調整を緊密に行うため、自治体等の4者で「地下鉄7号線（埼玉高速鉄道線）延伸連携会議」により連携し進めている。 また、岩槻の活性化を図るため、さいたま市や市民団体等と連携し、岩槻の魅力発信を行った。